

令和2年度 第3回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和2年11月16日(月) 14:30 ~ 16:00
会議方法 Google Meetによるオンライン会議
出席者 (学外) 江崎, 熊埜御堂, 林田, 平井, 松本, 宮崎, 吉岡,
渡辺の各委員
(学内) 中島, 田村, 河田, 細井, 松田, 藪田, 原田の各委員
陪席者 田中監事, 足立監事, 安延副学長, 山口副学長,
山根地域学部長, 黒沢医学部長, 後藤工学部長, 霜村農学部長

議事要旨の承認

前回(令和2年9月23日開催, 令和2年度第2回)の議事要旨を承認した。

— 委員からの主な意見 —

◇ 新型コロナウイルス感染症対策として, 県としても設備整備等の可能な支援を行うことから, 引き続き県と本学による連携を要望する旨発言があった。具体的には, 県との寄附講座「臨床感染症学講座」による県民への新型コロナウイルス注意点等の広報協力, 並びにクラスター発生に対する調査研究, 大学資源を活用したPCR検査, 治療体制, 及び他の病院への指導の強化が挙げられた。

また, 本学における対面授業実施のさらなる拡大を希望する一方で, 他大学でのクラスター発生事例を受け, SNS等を活用した学生への啓発活動を本学とともに検討したい旨発言があった。

併せて, 本学でのクラスター発生時等に対する初動対応として, 迅速な情報共有及びPCR検査体制の整備について協力を希望する旨発言があった。

議 題

1. 国立大学法人ガバナンス・コードへの適合状況

資料1に基づき, 文部科学省, 内閣府及び国立大学協会により令和2年3月に策定された「国立大学法人ガバナンス・コード」について, 国立大学法人がさらに経営の透明性を高め, 教育・研究・社会貢献機能を一層強化し, 社会の変化に応じた役割を果たし続けていくための基本原則となる規範として策定された背景, 適合状況について自ら定期的に点検を行い公表する必要性, 及び現時点での本学の適合状況等について説明があり, あわせて, 今年度公表期限となっている令和3年2月末までの公表に向けたスケジュール案及び経営協

議会委員に対して今後意見照会を行う旨説明があり、審議の結果承認された。

— 委員からの主な意見 —

◇ ガバナンス・コードにて示されている大学総括理事に関して、大学総括理事を設置する場合に期待されるメリットについて質問があり、運営から経営へと国立大学の方向性の転換が求められているなかで、経営を担う法人の長と教学を担う大学の長（大学総括理事）とに役割を分担した体制整備が可能となる旨回答があった。

また、現在の各国立大学法人の検討状況についても質問があり、現時点では情報が入手できていないため、今後各委員へ情報提供を行う予定であるとの回答があった。

◇ ガバナンス・コード策定の意義について質問があり、大学内でこれまで規則として謳えていなかった部分を明確化し、外部への公表が可能となるよう改善される点が有意義である旨回答があった。

◇ 上場企業におけるコーポレート・ガバナンス策定について、2015年の策定当初は十分に対応ができなかった部分もあったが、最終的には対応できたこと、及び取締役会での社外取締役の割合が増加してきたことの事例紹介があった。また、ガバナンス・コードの内容についても、体制的に本当に変革しなければならない項目は多くないため、本学に有意義となるような検討をしていくことが重要であるとの助言があった。

2. 令和2年度第1次学内補正予算（案）

資料2に基づき、令和2年度第1次学内補正予算（案）について、追加配分可能額及び執行計画案（令和2年度実施事業、学長裁量経費組入分及び業務達成基準適用事業）について説明があり、審議の結果承認した。

3. 目的積立金の事業計画（案）

資料3に基づき、大学分の設備及び施設整備にかかる目的積立金の事業計画（案）について説明があり、審議の結果承認した。

報 告

1. 令和2年人事院勧告

資料4に基づき、令和2年人事院勧告について、民間給与との較差を埋めるため、ボーナスを0.05月分引下げること、月例給については改定を行わないこ

とについて報告があった。

2. 経営協議会学外委員の選考方針及び運営方法の公表

資料5に基づき、「国立大学法人ガバナンス・コード」に対応するため、鳥取大学教育研究評議会の承認を経て、経営協議会学外委員の選考方針及び運営方法を公表することについて報告があった。

3. 令和3年度国立大学法人運営費交付金概算要求

資料6に基づき、令和3年度概算要求について説明があり、文部科学省から財務省に提出された概算要求事項及び要求額について報告があった。

その他

- ◇ 資料7に基づき、最近の本学の主なトピックスについて説明があった。
- ◇ 資料8に基づき、最近の地域貢献の取組みについて説明があった。
- ◇ 資料9に基づき、令和2年度第4回目を令和3年1月25日開催予定である旨説明があった。